

再評価
重点

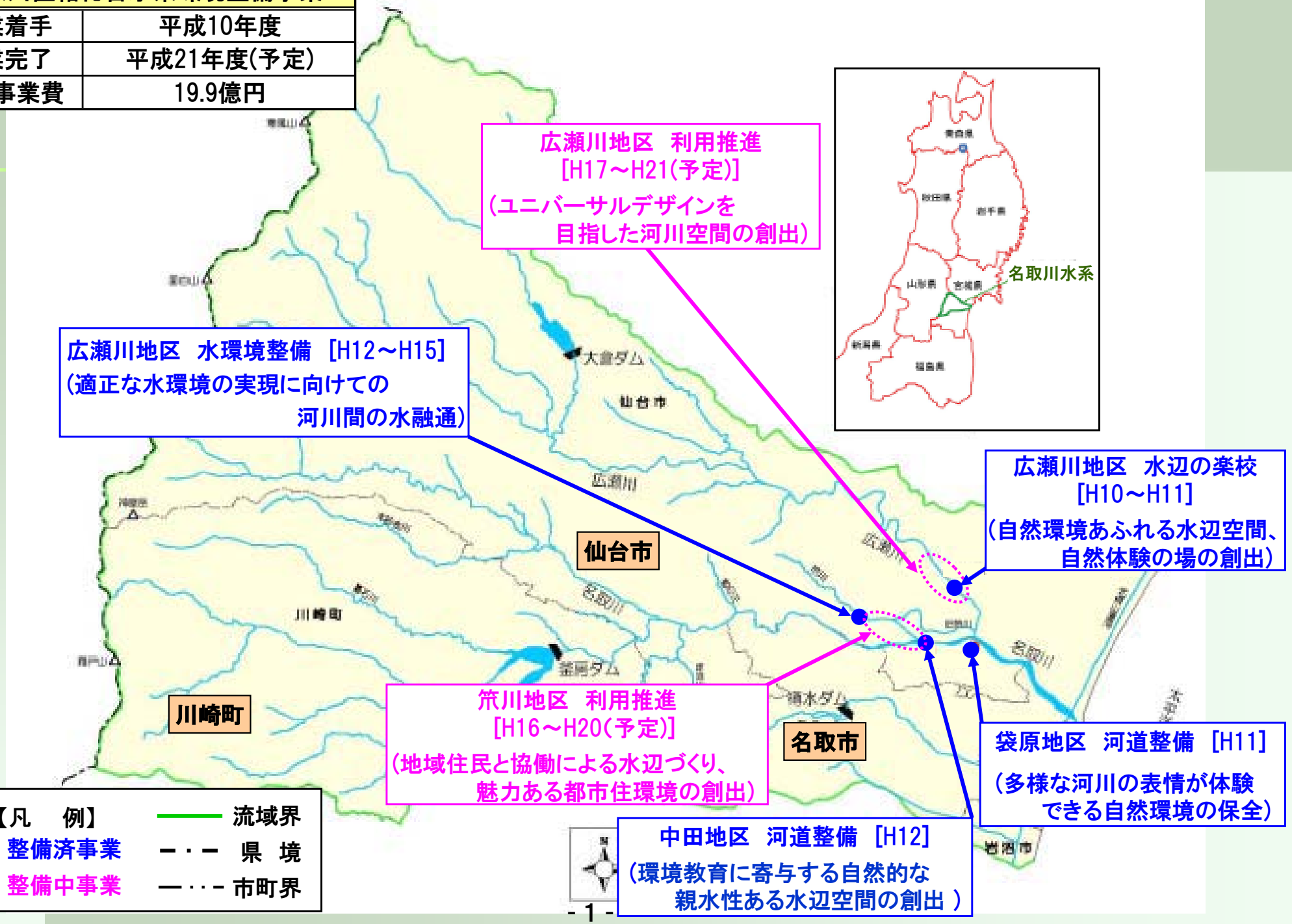
名取川水系直轄総合水系
環境整備事業

平成１９年１２月

国土交通省　東北地方整備局

事業概要【位置図】

名取川直轄総合水系環境整備事業	
事業着手	平成10年度
事業完了	平成21年度(予定)
全体事業費	19.9億円



事業概要【広瀬川地区　水辺の楽校】（整備済）



事業内容
緩傾斜堤防、アクセス施設整備（階段･スロープ）、高水敷整正

事業着手	平成10年度
事業完了	平成11年度
全体事業費	4.6億円

事　業　概　要

- 近隣の小学校、地域住民、仙台市より環境整備に対する強い要請
- 平成9年1月に「水辺の楽校プロジェクト」に登録

仙台市と連携した自然環境学習のフィールドとして親水性、利活用に配慮した環境整備を実施

【河川利用状況写真】



総合学習（カヌー教室）



総合学習（水生生物調査）



位置図

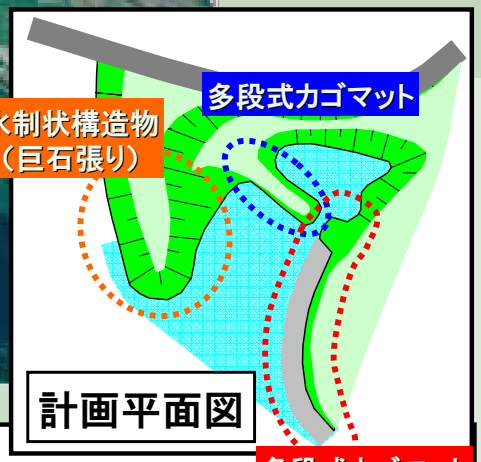
事業概要【袋原地区　河道整備】　（整備済）

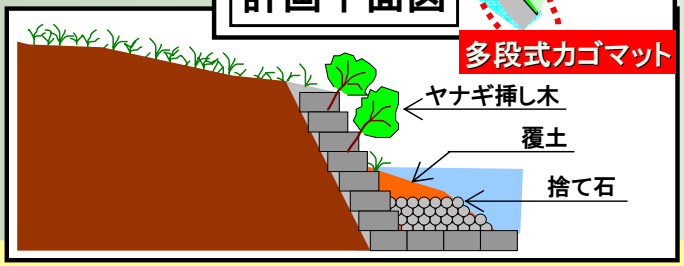
整備状況写真



事業内容
ワンドによる水辺整備

事業着手	平成11年度
事業完了	平成11年度
全体事業費	1.0億円





事　業　概　要

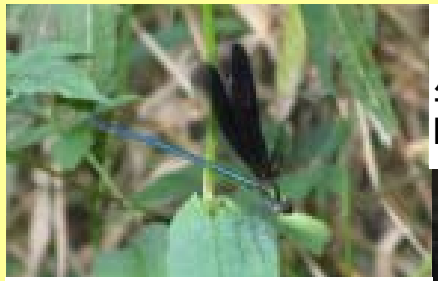
- 旧笊川の遊水地を緑地公園とする整備が進行
- 周辺の緑地整備と地域の原風景の保全に対する地域からの強い要請

河川改修により生じた広瀬川旧河道の敷地に、ワンドを整備し、水辺の生態系を保全

【河川利用状況写真】

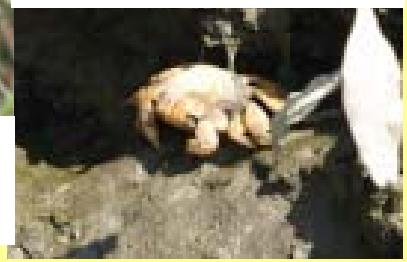


自然環境と触れ合うための自然観察会



[ハグロトンボ]
河川の川岸で見られ、水生植物のはえたゆるい流れを好む

[クロベンケイガニ]
生息場所は主に水辺で、陸上に穴を掘って生活する



ワンドに棲む生物たち

位置図



事業概要【中田地区　河道整備】　（整備済）

全体計画(案)イメージパース





整備状況写真



事業内容	
親水護岸の整備・高水敷整正	
事業着手	平成12年度
事業完了	平成12年度
全体事業費	0.5億円

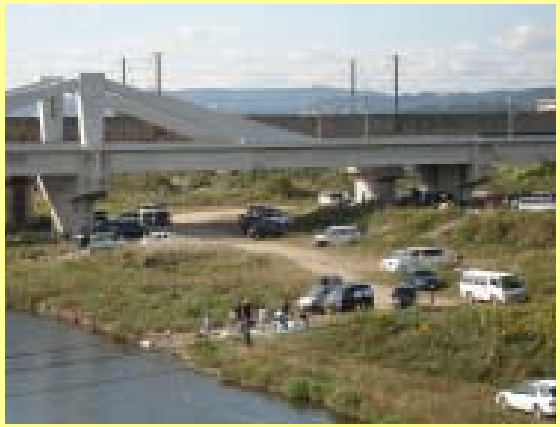
事　業　概　要

・名取川の自然を活かした活動空間、憩いとふれあいを求める切実な要望

環境教育に寄与する自然的で、親水性のある水辺空間を創出

・釣りや水遊び、自然環境学習のフィールドとして利用
・親子や友人同士でのバーベキュー、芋煮会が盛ん

【河川利用状況写真】



芋煮会を楽しむ人々



イベントの開催の様子
（体験　みんなの名取川）

位置図



事業概要【広瀬川地区　水環境整備】　（整備済）



逆流防止施設



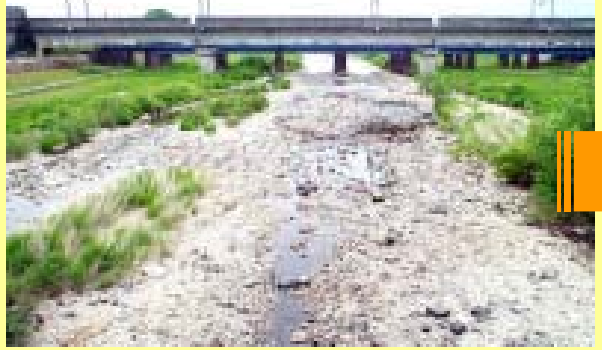
導水施設　取水ポンプ場

事業内容
導水施設（取水ポンプ場）、流量観測施設の設置

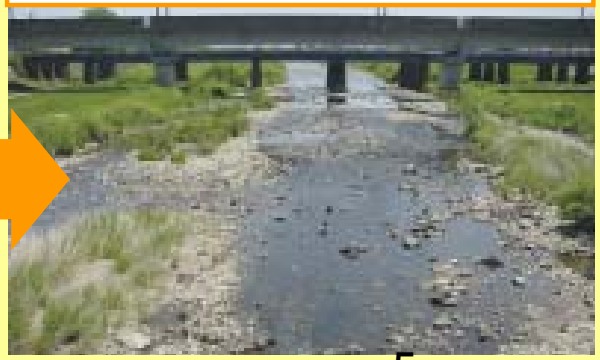
事業着手	平成12年度
事業完了	平成15年度
全体事業費	4.8億円

【導水による流況改善】

瀬切れ発生時の状況（Q=0m³/s）



導水後の状況（Q=0.4m³/s）



新聞記事未掲載

事　業　概　要

- 広瀬川の慢性的な夏場の渇水
- “瀬切れ”、“異臭の発生”、“魚類の斃死”など河川環境に多大な影響
- 渇水をひとつの契機とし、清流を守ろうと市民の川への関心が著しく向上

名取川より水を導水し、広瀬川および旧荒川の水量を確保する施設整備

- 生態系への保全が図られ、水辺の利活用が増進、良好な景観も形成されるなど環境を保全

事業概要【笊川地区　利用推進】　（整備中）

整備後の状況



整備前の状況



事業内容	
都市景観に配慮した緑化護岸、アクセス施設整備（階段・スロープ）、散策路整備	
事業着手	平成16年度
事業完了	平成20年度（予定）
全体事業費	6.0億円

事　業　概　要

・放水路として整備され、景観上、人工的な水路
・沿川で土地区画整理事業などによる都市化
・地域住民により水辺空間の親水性向上、良好な河川環境のレベルアップの要請の高まり

コンクリート護岸を緑化するとともに、水辺へのアクセス路として、坂路・階段などの整備を実施した結果、遊歩道には散策を楽しむ人々が行き交うようになった

【河川利用状況写真】



人を水辺に誘う階段

人々で賑わう水辺





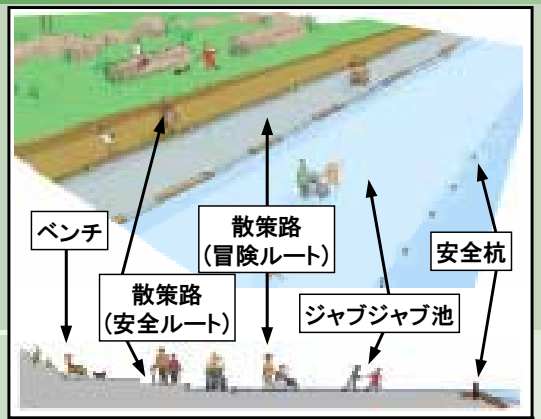
近隣住民による清掃活動

位置図



事業概要【広瀬川地区　利用推進】（整備中）





親水護岸の整備イメージ

事　業　概　要

・周辺地域のタウンモビリティ構想
・多くの人々が安全にふれあえる社会福祉等の向上を目指す水辺空間整備の要請の高まり

ユニバーサルデザインを目指した河川空間のアクセス、水辺を感じられる親水施設の整備

【河川利用状況写真】



整備された階段の利用



障がい者（車椅子）による現地体験・勉強会の様子

整備構想平面図



事業内容
親水護岸の整備、アクセス施設整備（階段・スロープ）

事業着手	平成17年度
事業完了	平成21年度(予定)
全体事業費	3.0億円

名取川直轄総合水系環境整備事業の進捗状況

名取川水系における環境整備事業　工程表

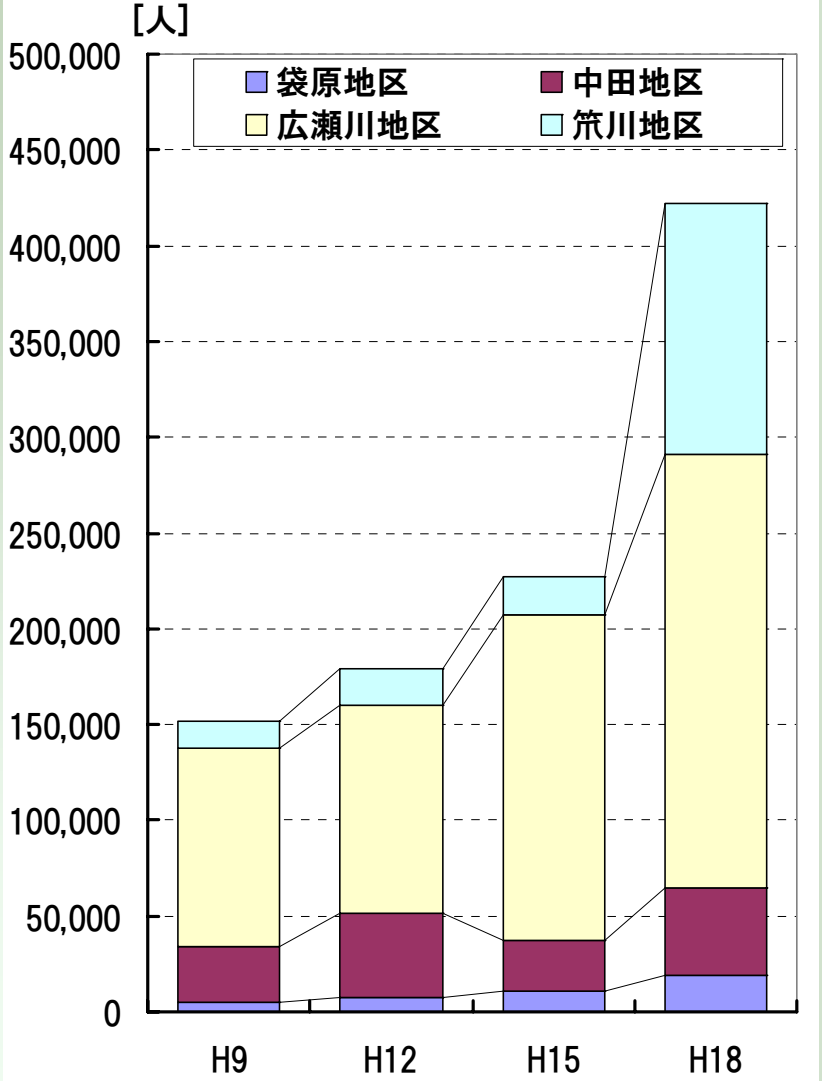
地区＼年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
広瀬川地区 水辺の楽校	■	■										
袋原地区 河道整備		■										
中田地区 河道整備			■									
広瀬川地区 水環境整備			■	■	■	■						
笊川地区 環境整備							■	■	■	■	■	
広瀬川地区 環境整備								■	■	■	■	■

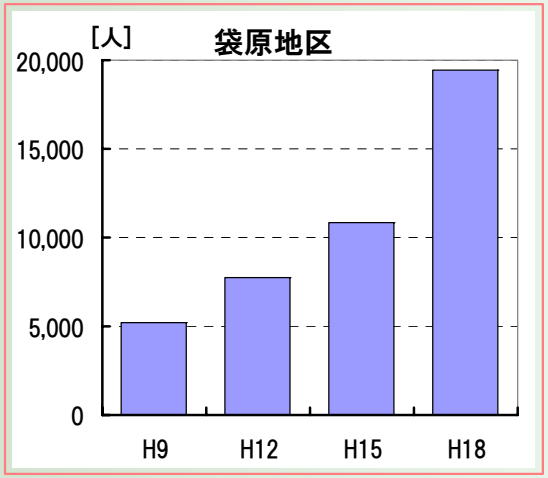
名取川水系の河川利用者数の推移

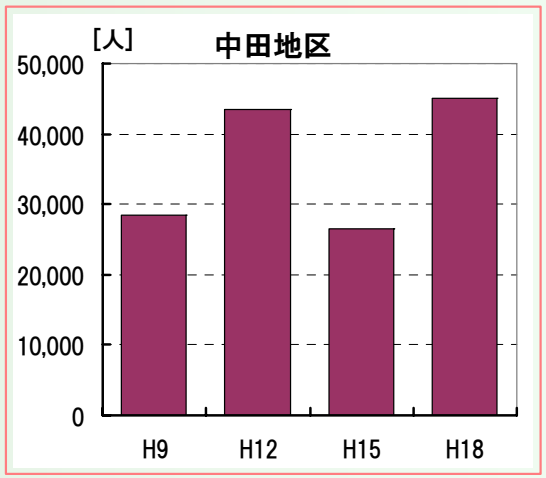
［単位：人］

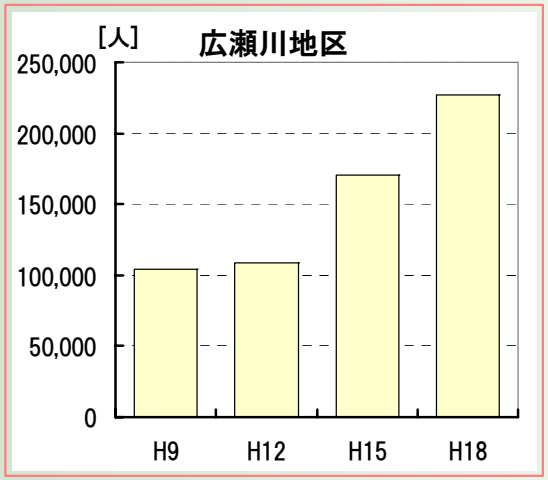
年　度		平成9年度	平成12年度	平成15年度	平成18年度	対象区間
事業実施区間	袋原地区	5,221	7,763	10,864	19,420	名取川　［左岸5～6k］
	中田地区	28,444	43,466	26,438	45,028	名取川　［7～8k］
	広瀬川地区	104,233	108,741	170,406	226,942	広瀬川　［2～3.5k］
	笊川地区	13,585	19,497	19,670	131,034	笊川
利用者数合計		151,483	179,467	227,378	422,424	

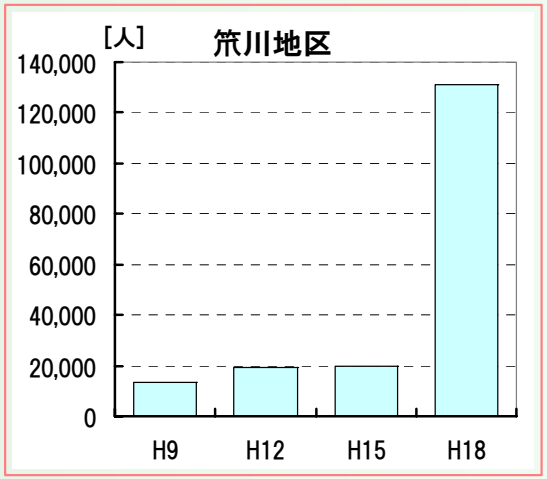
※河川空間利用実態調査結果より











▲各事業実施区間の利用者数は、いずれも増加傾向を示している。

費用対効果分析

C 費用	総事業費	
	建　設　費［現在価値化］	23.4億円
	維持管理費［現在価値化］	16.0億円
	費用合計	39.4億円
B 効果	総便益	
	便　　益　［現在価値化］	149.1億円
	残存価値　［現在価値化］	0億円
	効果合計	149.1億円
	費用対便益比(CBR)　B/C	3.8
	純現在価値化(NPV)　B-C	109.7億円
	経済的内部収益率(EIRR)	22.3%

広瀬川地区　水辺の楽校
袋原地区　河道整備
中田地区　河道整備
笊川地区　利用推進
広瀬川地区　利用推進

の5地区については、旅行費用法(TCM)により算出

広瀬川地区　水環境整備　については、仮想市場法(CVM)により算出

地域の協力体制

地域住民との協働による川づくりを実現



地域住民との連携による
清掃活動



現地視察の状況



住民主体で構成された懇談会
による計画検討

事業による効果〈社会的評価〉

水辺が身近なものとなり、自然体験学習など河川利用が活発化



「自然観察会の様子」(総合学習)



NPO法人主催のイベントの様子



障がい者の方々による
現地視察の様子

事業による効果〈河川利用状況〉

「政宗さんの川狩り」の様子
アユのつかみ取り





「政宗さんの川狩り」の様子
取ったアユはその場で塩焼きに

「笊川体感体験会」の様子



「夏祭り・新笊川で遊ぼう」の様子
川に入って遊ぶ子供たち





「夏祭り・新笊川で遊ぼう」の様子
川の中をゴムボートで遊覧



「太白ウォッチング」の様子



笊川で遊ぶ子供たち

《河川整備に対する近隣住民の反応【住民の喜びの声】》

●整備状況はすこぶる良好と思う。この区間の散策路を整備し、親水テラスを改修したことにより散歩・ウォーキングをする市民が多くなり、又、子供達も水に親しむ機会が増えた。笊川の流れは以前に比べ格段に良くなった。流域に住む我々にとっては本当に喜ばしいことである。
（富沢中町内会長　浅川氏）

●以前、この辺一帯ではホタルは目につかなかったが、ここ最近、新笊川でもホタルが見られるようになった。又、沿川に住む子供たちが笊川の中に入って遊ぶ姿が目につくようになった。
（西大野田町内会副会長　森氏）

事業による効果〈河川利活用・管理の年間スケジュール〉

	主なイベント・清掃活動等	
1月	○広瀬川初歩き（NPO法人 広瀬川清流を守る会）	《清掃活動》 ・河川清掃（3月～12月に1回） ［郡山堰から広瀬橋周辺］ （NPO法人 広瀬川清流を守る会） ・仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会（4月～11月に月1回） ［八本松小学校から千代大橋までの河川敷］ （郡山千代大橋町内会） ・広瀬川八本松緑地公園並びに広瀬川河川敷清掃（4月～11月に月1回） ［八本松地区広瀬川河川敷公園］ （八本松マンション町内会） ・広瀬川清掃（4月～11月に月1回） ［千代大橋右岸下流］（東郡山新々田町内会） ・河川公園のゴミ拾い（4月～11月に1回） ［若林緑地公園］　（若林広瀬親交町内会） 《自然体験活動》 ・広瀬川親子自然体験活動（4月～2月） （NPO法人　水環境ネット東北） ・カヌー協会によるカヌー体験（不定期） ・ホタルの里づくり支援事業（通年）［大野田小］ （NPO法人 広瀬川清流を守る会） ・総合学習（八本松小学校、若林小学校　他）
4月	●広瀬川および八幡地区清掃［終了後お花見会］ （NPO法人 広瀬川清流を守る会）	
5月	○広瀬川で遊ぼう（広瀬川市民会議） ●笊川環境美化体験会（笊川環境整備懇談会）	
6月	●広瀬川の流域を歩く（広瀬川市民会議）	
7月	●ホタル観察会（広瀬川清流を守る会） ●名取川河川敷清掃［東北本線と旧4号線の間］ （名取川中流部の環境整備を考える会）	
8月	●政宗さんの川狩り（NPO法人 広瀬川清流を守る会） ○広瀬川灯ろう流し（広瀬川灯ろう流し実行委員会） ○仙台笹舟プロジェクト（NPO法人　笹舟） ○仙台七夕花火祭（社団法人仙台青年会議所） ●夏祭り・新笊川で遊ぼう（三栄会）	
9月	●広瀬川1万人プロジェクト～広瀬川一斉清掃～ （広瀬川1万人プロジェクト実行委員会）	
10月	●太白ウォッチング（仙台市富沢市民センター） ●笊川環境美化体験会（笊川環境整備懇談会）	
11月	●笊川体感探検隊（宮城学院女子大学）	

●事業実施区間内のイベント、○事業実施区間周辺のイベント

原案：事業継続

○名取川直轄総合水系環境整備事業により、これまで整備した地区では、多様な利用形態、利用頻度の向上、関連自治体の協力体制の整備、地域住民の自発的活動の創出がされているなど、事業の効果が認められる。

○今後、整備を予定している地区についても、地元自治体等からの事業促進の要望活動が行われるなど、事業の推進が期待されている。